

□ 増築棟オープン記念イベント 第2弾

□ 私のお勧め本 第23回

法医学の清水教授が『看取りの医者』を紹介します

□ 図書館からのお知らせ

改修工事が始まりました / 学生証を忘れたら本人確認します！



オープン記念イベント開催します！

9月の研究フォーラムに引き続き、増築棟オープン記念イベント第2弾として、昨年好評でしたリレー講演会『1時間で分かる三浦綾子』の2014年バージョンを開催します。

増築棟1階のディスカッションスペースで行います。どうぞご参加ください。（事前申し込み不要）

ディスカッションスペースは、増築棟の1階に新しく出来た机やイスを自由に組み合わせて使えるスペースです。ホワイトボードなどを使って仲間と会話しながら学習ができる場所で、グループ学習に最適です。試験期を除き講演会などにも使用できます。

10月9日(木) 18時～19時
『1時間で分かる三浦綾子』 2014

↓ 9月24日の研究フォーラムの様子



“旭川にいるなら**三浦綾子**を知らずに卒業できないでしょ”

本学 吉田貴彦先生のミニレクチャーにつづいて、三浦綾子記念文学館特別研究員の森下辰衛氏が講演します。

聞き応えのある講演会です。お楽しみに♪



←USTREAMで生中継もいたしますので、直接会場に来られない方はこちらからどうぞ。

<http://ustre.am/1g1XG>

ブックハンティング収穫本・絶賛貸出中！！



工事のため、いつもより遅くなりましたが、今年度第1回目のブックハンティング収穫本は、**増築棟1Fのディスカッションスペースにてお披露目&貸出中**です。次回は、開学記念日の11/5を予定しています。詳細が決まり次第、ポスターやHPでお知らせしますので、前回、授業などで参加を断念された方、ぜひぜひ、ご参加



ください♪

お待ちしております





看取りの医者 平野国美著 小学館文庫 BS/Mit



著者である平野医師に白衣はなく、いつも私服。訪問専門の医者だからである。患者さんには、末期ガン、脳梗塞後遺症、認知症の高齢者が多い。これまで何百人もの患者さんを自宅で見取ってきた。『死は敗北』とする「医師のための医療」ではなく、『死を充実した生の締めくくり』とする「終末期患者のための医療」にこころを砕く、在宅医療の先駆者である。

その終末期医療の訪問医が見届けた感動実話全九話。「看取り」を続ける医師が問う「その人にとって最もふさわしい最後の場所」とは？自宅で見取られた過程は、悩み、涙ぐみ、しかし、微笑みもあって、せつない。そこには、家族の絆、もしくは、家族的な仲間の絆がある。

在宅死を見取る平野医師の実感、「人は家族に囲まれて見取られて死ぬことが、人生最後の幸せ」。理想は、家族という共同体の中で「自然」な死のプロセスをたどること。ここでいう家族とは、必ずしも、血族や姻族を意味しない。高齢者アパートの一つの共同体であってもよいのだ。人生の終末期を充実して過し、安心感と誇りをもって他界へ旅立つ最後の花道に、どこを選ぶのか。個人住宅でも高齢者アパートでも、一つ共同体の中で死ぬこと。これこそ「共同体の中に生れて生きた人間に、最も自然な最後」と著者は言う。共同体は、死を受容し、そして乗り越えていく。「だから、読者の皆さんに呼びかけたい。「自宅で死ぬうよ。」」と、著者は結ぶ。

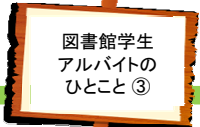
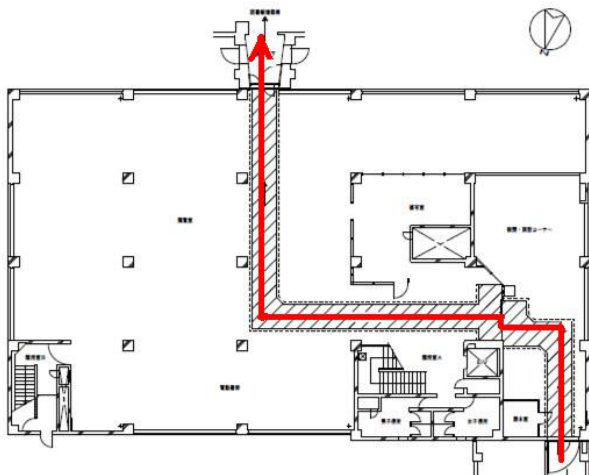
自分の死に場所を、真剣に考えてみたいと思わせる一冊である。



図書館からのお知らせ

9/20(土)から図書館既存棟改修工事が始まっています。それに伴い、館内のトイレは使用できません。

また、10/4(土)以降は、入試課横～増築棟部分まで仮設の通路を通って行き来することになります。そのため、ロビーの休憩スペースが無くなります。来春のフルオープンまでご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解・ご了承ください。



図書館バイトの山田です。

9月から図書館の新棟がオープンし、旭川家具が使われたきれいな図書館での開館となっていますね。

9月は前期の期末試験があったので、テスト勉強で図書館を利用していた方が多かったように思います。座席を使って勉強している人が多いなか、図書館の座席利用カードを使っていない人をちらほら見かけました。

座席利用カードは席を利用しているという証になるものなので、利用カードが無い席においてある荷物は忘れものなのかどうか、撤去した方が良いのかいつも考えてしまいます。

座席を利用する方は是非座席利用カードを活用してくださいね！無くしてしまった方はカウンターにて保管・再発行していますので、有人開館時間(平日9:00～19:45 土曜日12:00～15:45)にお尋ねください。

学生証を忘れたら 本人確認します！

今までは、口頭注意のみで入館を許可していましたが、なりすましが発生したため、当面の間、職員が本人確認をします。ご協力をお願いします。

学生証は、常に着用または、携帯するようお願いします。